

平成6年度厚生省心身障害研究

6) 分担研究課題：人工妊娠中絶の実態に関する研究

研究協力者 黒島淳子

東京女子医科大学第2病院産婦人科

リサーチクエスチョン

人工妊娠中絶を経験する女性の心理状態はいかなるものか。どの様な支援が必要か。

研究方法

東京都内における産婦人科医療施設において、人工妊娠中絶を施行した比較的直後（1週間以内）の女性の心理状態について、記入式でアンケート調査を実施した。

アンケートの内容

I、妊娠中絶をしたのはいつですか

( )才のとき  
妊娠( )週 ( )日であった  
そのとき、相手の人と結婚(届け出)していたか? はい いいえ  
いいえとお答えの方、該当するものすべてに○

1. 正式に婚約していた
2. 結婚の約束があった
3. 同棲していた
4. 恋人だった
5. あまり親しい関係ではなかった
6. たまたまつきあった程度の関係
7. その他

そのとき、誰と同居? (該当する人にすべて○)

1. 相手
2. 相手の家族
3. 自分の両親
4. 自分の兄弟
5. 同性の友人
6. その他( )

II、人工妊娠中絶についてどう思いましたか?

1. 中絶してよかった(安心した)
2. 中絶は2度とすまいと思った

III、IIで1に○した方、その理由は? ① 健康のため

- ② 経済的理由で
- ③ 社会的理由で
- (d) その他

IV、IIで2に○した方にお聞きします

①自分では実際には妊娠を続けたかった           はい           いいえ  
②妊娠するのではなかったと後悔した           はい           いいえ  
③中絶について 罪悪感でいっぱいになった           はい           いいえ  
④相手に対して不信感をもってしまった           はい           いいえ  
⑤身体的に大きな苦痛を感じた

V、その後は注意して避妊していますか

はい           いいえ

VI、現在 中絶によると思われる障害がのこっている

はい           いいえ

それは   どんな   障害ですか   詳しく

VII、相手の人と関係が変わりましたか

- ①そのまま続いている
- ②中絶が原因で別れた
- ③その他

## 調査結果

a)年齢分布	10代	8名
	20代	23名
	30代	10名
	40代	5名
	計	46名

b)妊娠週数	8週以下	24名
	8-10週	14名
	11-14週	2名
	15-18週	1名
	19週以降	1名
	不明	4名
計	46名	

c)婚姻の有無	婚姻 あり	18名	なし	25名
			同棲	4名
			婚約	2名
			恋人	16名
			先輩	1名
			たまたまつきあう	2名

d)誰と同居	相手	16名
	両親	11名
	その他	6名
	記入なし	3名
	計	46名

c)中絶して良かった… {肯定的}	
① 健康のため	3名
② 経済的理由	6名
③ 社会的理由	5名
④ その他	2名
計	16名

d)中絶を2度とすまいと思う… {否定的}	
① 実際には続けたかった	18名
② 妊娠するのではなかった	21名
③ 中絶に対する罪悪感	24名
④ 相手に対する不信感	8名
⑤ 身体的苦痛	20名
計	91名 (重複回答あり)

e)その後の避妊は

している：20名

e)中絶の後障害：あり 1名  
なし 15名

f)相手との関係：続いている 33名  
別れた 3名  
もともと親しくない 1名  
その他 9名

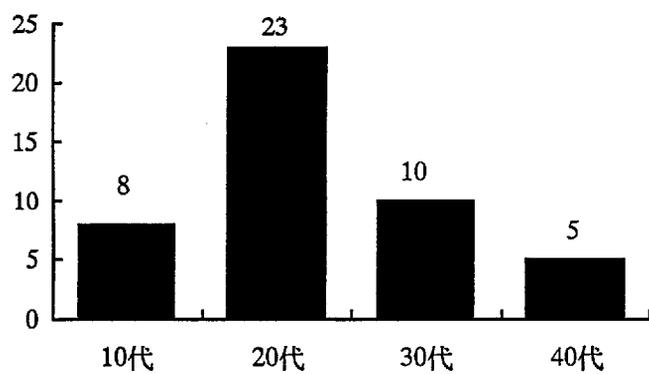
#### 今年度の結果

- (1)年齢分布は、10代から40代までの拡がりが見られた。
- (2)従って、30,40代は結婚している女性が多く、中絶の週数は妊娠8週以前の初期中絶が最も多くみられた。中期中絶は少ない。
- (3)婚姻関係は、有りが最も多く、次は恋人となっていた。
- (4)中絶をして良かった、の回答は16名であり、既に子供が2~3人いるので、経済的、社会的理由である。
- (5)中絶を2度とすまいと思った、否定的の女性は、中絶に対する罪悪感が最も多く、次は、実際には続けたかった、妊娠するのではなかったなどが続き、赤ちゃんに悪い事をしてしまったと 自責の念にかられている。  
身体的苦痛も20名ほどが感じている。
- (6)早速、避妊を始めている、がやはり20名であった。
- (7)中絶の後障害 有りは1名のみであった。
- (8)相手とのその後の関係は、33名が続いている、であった。

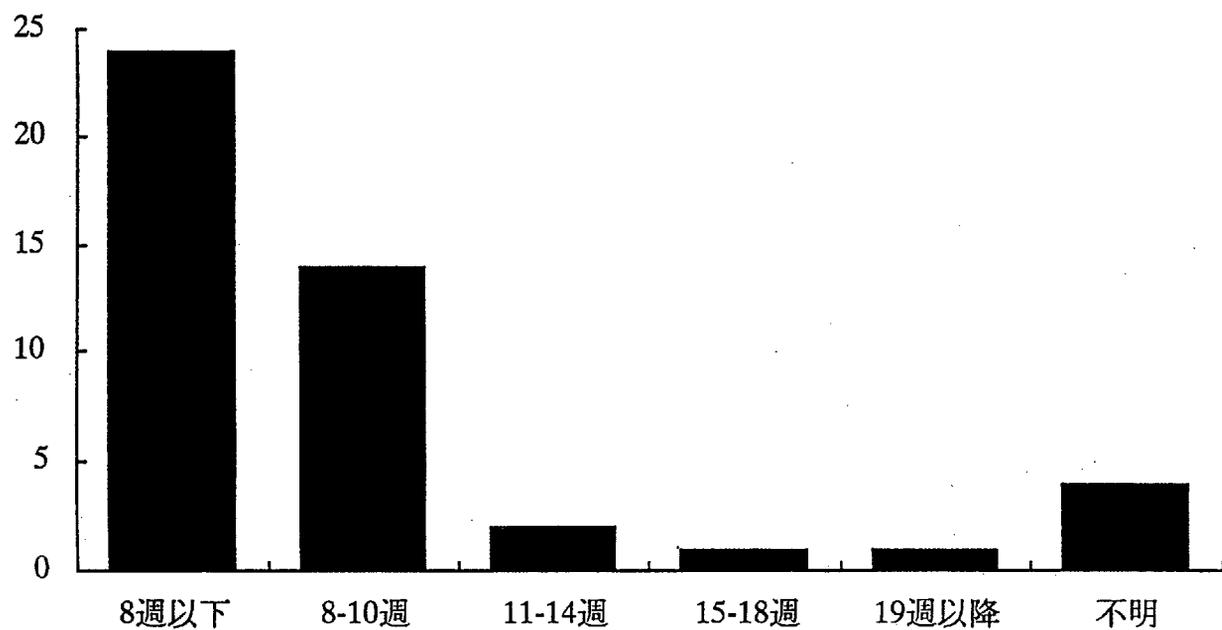
#### 今後の研究課題

1. 自責の念は、1,3,6ヶ月と月日が経つとうすらぐとも云われており、短期または長期間の調査が必要である。
2. 中絶をした妊娠月数が、大きければ大きい程、また超音波検査で胎児の動きなどを見た後程、喪失感が大きいとも云われている。
3. 本人の精神的ショックは当然であろうが、相手はそれ程の影響は受けず、この時点から心理的なずれは生じている可能性があり、その後のパートナーとの性機能や、性衝動に少なからぬ影響をおよぼす事も考えられ、この面に関する調査も必要である。
4. 孤独感を強く感ずる様であれば、専門家やソーシャルワーカーなどによる精神的な支援の追跡調査も必要である。

妊娠中絶の年齢分布



妊娠中絶の週数





**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



#### 研究方法

東京都内における産婦人科医療施設において、人工妊娠中絶を施行した比較的直後（1週間以内）の女性の心理状態について、記入式でアンケート調査を実施した。